本年度の学校評価

本年度の 重点目標	1 授業を大切こした学習習慣の確立を図り、高交生として必要な基礎学力の定着・向上を目指した学習指導に取り組む。 2 社会人としての自立を目指し、卒業後の進路実現のために、4年間を見通した生徒指導・進路指導で積極がに取り組む。		
	3 教育相談に対する教員一人	一人の意識を高めるために、研修な	とを充実させ、麹韻員が一体となって生徒に対応できる体制を整える。
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	保護者との連携強化	・保護者会の充実	・保護者から生徒の家庭での状況などをより聞けるような工夫をする。
	地震が沿袖の周知徹底	・防災計画の周知 ・避難間棟の実施	・想定外の事態に直面しても焦られて行動できるように、場合分けをして さまざまな事態について考えさせる。
教務部	基礎学力の向上	・反復東省による基礎学力の定着 と向上	 ・授業規律を確立し、授業への取組みを向上させ、基礎学力の定着を図る。 ・教材を精選し、基礎学力の向上のため授業内容を充実させ、反復練習、 小テストの実施等で学力向上と指導の充実を図る。 ・学力の個人差に対応するため個別指導の充実を図る。
	単位の履修と修得指導の充実	・ 出牌制数不足者への指導の充実 ・ 成績不振者への指導の充実	・個別指導こより意識向上を徹底し、教科担当、担任、保護者との連携を密にし、出席時間数不足の解消を図る。・日頃の個別指導と定期がよ復習を徹底し、長期休業中の補充を充実させ
生徒貸部	基本的生活習慣び確立	・欠席者、遅刻皆指導で対する指導の充実 ・身だしなみ指導の充実 ・交通安全指導の充実	る。 ・教務部、担任、保護者と連絡を密こし、個別指導を充実させ、欠席や遅刻の連絡を意識させる。 ・担任や保護者と連携を取りながら、服装・頭髪指導に取り組む。 ・校門指導では、無灯火車・車で下交する生徒が、するいが確認する。 ・自転車点検を実施し、交通量文や不慮の事故を未然で防ぐ。
	暴力・いじめの防止	・面談やアンケートの実施	・面接側間で保護者会、生活実態調査の情報を速やかて教職員と共有し、 未然に暴力やいじめを防いていく。 ・校門指掌等の様々な場面を活用して、生徒の実態の把握で努める。 ・情報モラル講話を実施し、SSやインターネット上でのマナー・モラルの指導を充実させる。
生徒会	生徒会活動の充実	・球技大会や体育大会の 活性化 ・卒業生送る会の充実	・生徒に役割を与え、責任感を持たせ、生徒会が当体的に行事を運営できることを目標とする。 ・生徒同士が協力して、安全に行事を進められるように指導する。
	部活動の活性化	・バベンド部の活動の	・ 部括動への積極的な参加を勧め、練習式合く対り試合に参加する。 また、活動状況の周知で努る。
進路管	進路に対する意識の向上	・早期からの進名意識の向上・進路希望の実現・就職者の期間率の改善・進学希望者への指導の充実	・ 進路希望調査を通じて生徒の志望を早期に把握し、個別指導を行う。 ・ 国籍の違う生徒など、特別な事情を持った生徒の進路指導を充実させる。 ・ 職業安定所および企業との連携を密にする。 ・ 進学希望者への個別の学習指導を行うとともに、推薦入学、奨学金制度等についての情報を収集提供する。 ・ ミスマッチを防く為、応募前職場別学に複数対行くよう指導する。 ・ 進学希望者に対し、長期休業中の指導について計画を立てる。 ・ 進学や自動車学校に通う為の貯蓄を計画的に行うよう促す。
保健厚生部	健康管理の充実	・感染症予が指導 ・健康診断の事対措置 ・こころの健康問題への対応	 ・手洗い、咳エチケット等の指導の徹底。 ・生徒全員に保護者会及び長期相関前に健康診断結果一覧を配布する。受診が必要な生徒に対し、個別の保健指導を行う。 ・目の健康に関して、集団や個別指導の充実を図る。 ・こころの健康について、現職所修を行い理解を深める。
給食	学校給食の充実と食中毒の防止	・欠食生徒への対応 ・手洗いががたき手指消毒 ・委託業者との連携	・献立表の工夫や個別指導を実施する。 ・手先、手指消毒の習慣の定着により一層力を入れる。 ・消毒用石鹸と手指消毒用アルコール液の設置と使用を奨励する。 ・衛生面に留意し、食中毒・感染症の発生を防止する。 ・委託業者と密に連絡を取り、連携する。
1年	基本的生活習慣の向上	・ 欠席、 遅い 防止 ・ 授業規律 の確保	・生活リズムを確立させるため、生活目標を設定させ、欠席・遅刻をできる限りしないように指導をし、その連絡を意識させる。
2年	基本が生活習慣の向上と進格意 識の自覚	・欠席、遅が防止・就業の奨励	・欠席、遅刻を減らし、時間を守る意識を高めることで、進路意識を芽生えさせる。 業の経験を元に、社会に関心を向け、自らの進路について考えられるように指導する。
3年	基本が生活習慣の確立と進絡意識の確立	・ 欠席、 遅い 防止 ・ 進路 に違い 充実	・欠席、遅刻を減らし、目標を持って授業を受けさせ、進路意識を向上させる。 進路 現に向けて努力する姿勢を身につける。
4年	基本が生活習慣の確立と進絡実 現への努力		・生徒の面接や進路情報の伝達を通して、進路に関する意識を高め、必要な努力を促し 希望の実現を的確かつ早めに行う。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		1 授業を大切にした学習習慣の確立を図り、高校生として必要な基礎学力の定着・向上を目指した学習指導に取り組みができているか。2 社会人としての自立を目指し、卒業後の進路実現のために、4年間を見通した生徒指導・進路指導に積極的な取り組みができているか。3 教育相談に対する教員一人一人の意識を高めるために、研修などを充実させ、教職員が一体となって生徒に対応できる体制を整えているか。	